

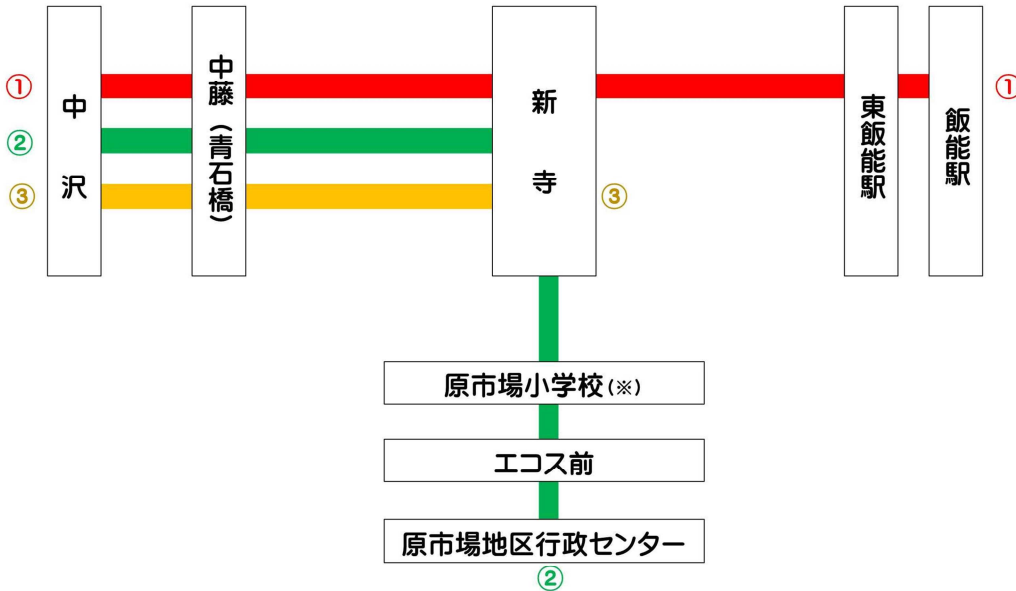
これまでの経緯

国際興業バス中藤・中沢線は、以前から人口減少などの影響で輸送実績が悪く、運行事業者からはこのままのかたちで運行を続けることが困難であると申し出がされていました。地区のおでかけの足を維持確保していくため、バス路線の見直しを開始しました。これまで、運行素案をもとに地域住民の代表者の皆さんとの地区検討会やバス利用者アンケート調査などにより、意見交換を行ってきました。このたび、これまでの結果を踏まえて作成した実証運行案について、第3回地区検討会(2/17開催)において説明し、意見交換をしました。



第3回地区検討会で示した実証運行案です。この案をもとに協議を進めていきます。

運行概要…バス利用者アンケート、第2回地区検討会等を経て運行素案を修正し、実証運行案を作成しました。



ポイント

●経路

- ・通勤、通学の利用者のため朝の時間帯に2便大型バスによる飯能駅便(中沢～飯能駅)を設定します。
- ・予約制運行としていた中沢～中藤間は、**定時定路線運行**とします。

ポイント

●運行日

- ・行政センター便は、主に高齢者の買い物、通院のため週3日(月水金)運行します。

●運賃

- ・全系統とも中沢～新寺間を一律100円とします。
- ・現行の通勤、通学定期券、彩京のびのびバス等が引き続き利用できるよう調整します。
- ・小児、未就学児、障害者の運賃減免を検討します。

系統	① 飯能駅便(赤)	② 行政センター便(みどり)	③ 新寺便(黄色)
経路	中沢～飯能駅	中沢～原市場地区行政センター	中沢～新寺
運行日	毎日	週3日(月・水・金)	毎日
便数	朝 2便	昼 4便	夕～夜 5便
運賃	対キロ運賃 (中沢～新寺間 一律100円)	一律300円 (中沢～新寺間 一律100円)	一律100円
現行の定期券、彩京のびのびバス利用可とする			
車両	大型バス	15人乗りワゴン	15人乗りワゴン
駅方面乗換え	いない(直通)	いる	いる
主な利用想定	通勤・通学(往き)のための移動手段	高齢者の買い物、通院などのための移動手段	通勤・通学(帰り)のための移動手段

※上記①～③のほか、原市場小スクールバスの運行あり。(大型バス運行、住民の相乗り可)

運行経路 …実証運行の運行経路です。停留所は現行の国際興業バスの停留所を活用します。



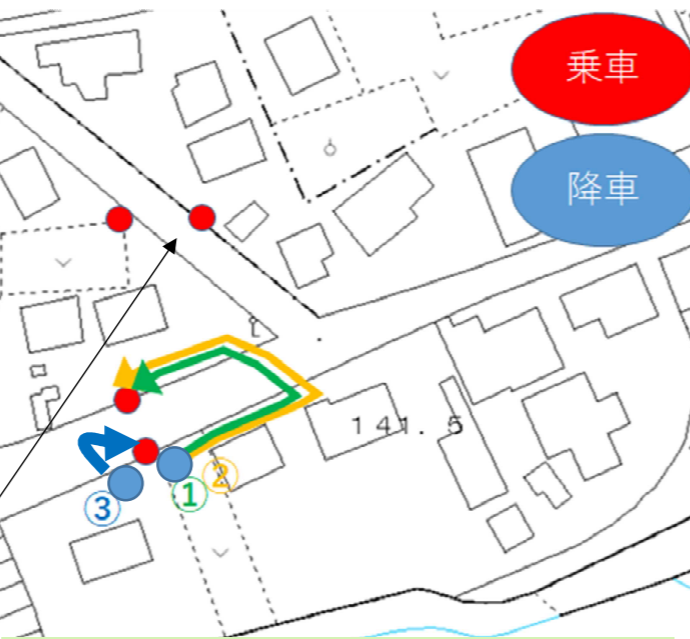
新寺での乗換 …新寺での名栗本線への乗り換え方法です。

■中沢方面から飯能駅方面に向かう場合
①名栗本線の**新寺バス停**で降車し、横断歩道を渡り、名栗本線の**新寺バス停**で乗車する。

■飯能駅方面から中沢方面へ向かう場合
②**昼 (行政センター便 or スクールバスへの乗換)**
名栗本線の**新寺バス停**で降車し、横断歩道を渡り、名栗本線の**新寺バス停**で乗車する。

③**夕～夜間 (新寺便への乗り換え)**
名栗本線の**新寺バス停**で降車し、付近で待機するワゴン車両に乗車する。

■その他
朝の飯能駅便に新寺から乗車する場合、現在の中沢・中沢線の**新寺バス停**で乗車する。



ポイント
● 国際興業バス名栗本線からの乗り換えがスムーズにいくよう今後運行事業者と調整をします。

時刻表イメージ …中藤(青石橋)から駅・新寺方面の時刻表イメージは以下のとおりです。実証運行開始までに運行事業者と運行時刻を調整します。

平日		土休日	
現行	実証運行案	現行	実証運行案
時	中藤(青石橋)	時	中藤(青石橋)
6	25	6	25(駅)
7	05	7	05(駅) 50※
8		8	
9	35	9	10(セ)
10		10	10(セ)
11		11	00(セ)
12		12	01(セ)
13	20	13	23
14		14	
15	35	15	
16		16	50
17	55	17	
18		18	22(寺) 57(寺)
19	26	19	
20		20	

※ 原市場小スクールバス(住民相乗り可)

ポイント
● 朝：通勤、通学のため今までどおり2便運行します。
● 昼：主に買い物、通院のため週3日運行します。
● 夕夜：名栗本線からの乗換便(新寺便)を運行します。

ポイント
● 朝：通勤、通学のため現行と同水準で運行します。
● 夕夜：名栗本線からの乗換便(新寺便)を運行します。
● 土休日は全便とも15人乗りワゴンで運行します。

運行便数イメージ (中藤発→駅・新寺方面)

現行	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝	2便	2便	2便	2便	2便	1便	1便
昼	2便	2便	2便	2便	2便	2便	2便
夕	3便	3便	3便	3便	3便	1便	1便
夜							

実証運行案	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝	2便	2便	2便	2便	2便	2便	2便
昼	4便	-	4便	-	4便	-	-
夕	5便	5便	5便	5便	5便	2便	2便
夜							

※このほか、原市場小スクールバス運行に住民相乗り可(開校日、朝1便 夕1~2便)

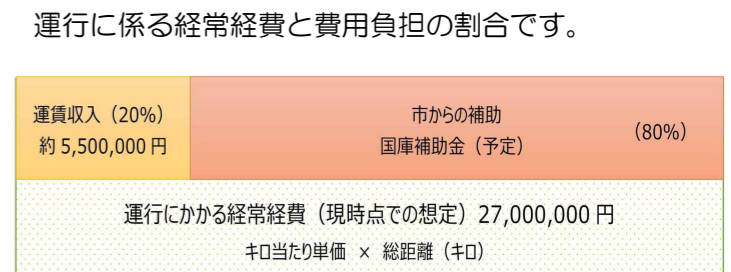
ポイント
● 時間帯により行先(飯能駅、行政センター、新寺)は異なりますが、運行本数は増加します。
● いずれの曜日でも朝以外の時間帯は、飯能駅～中藤間の移動の際は乗り換えが必要となります。
● このほか、原市場小スクールバスに住民の相乗りを可能とすることで運行便が増加します。

車両イメージ



ポイント
● 朝は大型バスで運行します。
● 昼～夜は想定利用者数から15人乗り車両とします。
● 車いす利用者の利用は前日までの事前予約制とし、タクシー車両をチャーターします。

費用負担イメージ



ポイント
● 運賃収入は20%を目指します。
● 欠損部分は市からの補助金をあてます。
● 国庫補助金を活用予定です。(R5 本格運行～)



第3回地区検討会でのご意見 …委員の皆さんから頂いたご意見を一部ご紹介します。

【質疑、要望など】

- スクールバス便について、学校の臨時休校時などの対応はどうか。
 - ▶休校時は運休となる。詳細は運行事業者、教育委員会と調整していく。
- スクールバスへの児童以外の方の相乗りについて防犯上不安がある方もいる。安全対策をどのようにしていくか。
 - ▶一小、南高麗小など他地区では一般の路線バスで通学している。奥武蔵小は貸切バスであるが、地域の移動の課題解決のため、住民の相乗りを開始している。今後、教育委員会と協議をしながら、安全対策を検討していく。
- 試験期間など、学生の早帰りに対応できるよう昼間の運行便の充実をお願いしたい。
 - ▶実証運行中の利用状況などを踏まえて、設定が必要かどうか検討していきたい。
- 新寺バス停周辺について、安全対策と夜間の防犯対策をお願いしたい。
 - ▶生活安全課内の担当と対策を検討し、環境整備をしていきたい。
- 石倉から先の唐竹地区に移動で困っている高齢者がいらつやる。路線の延伸を検討できないか。
 - ▶今回の再編は中藤・中沢地区のバス路線の再編としており、原市場地区内の他の交通の空白地については、今後、他の施策などを含めて引き続き検討していく。



【その他意見】

- まずは実証運行を開始して、実証期間中に出た課題をあらためて検討していくことが大事である。
- みんなで使って育てるという意識が大事である。地域で活用策を考え、地域を活性化させるチャンスととらえたい。



今後のスケジュール …実証運行の開始予定を令和4年7月（予定）→令和4年9月（予定）に変更しました。

時期	内容
11/19(金)	第1回地区検討会 済 <ul style="list-style-type: none"> ・市の公共交通の現状と交通政策についての説明 ・新しい移動手段の運行素案についての説明 ・運行素案についての意見交換
みんなで考えようおでかけの足通信(第1号) 発行 済	
運行素案に対する意見募集箱(12月1日~12月28日)、利用者アンケートの実施 済	
令和4年1月 【書面開催】	第2回地区検討会 済 <ul style="list-style-type: none"> ・意見募集等の結果を踏まえた運行案の説明 ・新しい運行案についての意見提出(書面)
みんなで考えようおでかけの足通信(第2号) 発行 済	
2/17(木)	第3回地区検討会 済 <ul style="list-style-type: none"> ・実証運行案の説明 ・今後の課題の整理
みんなで考えようおでかけの足通信(第3号) 発行	
3月~	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者の公募、決定 ・地権者等との交渉 ▶ 停留所設置等のお願い ・警察との協議 ▶ 経路の安全性、フリー乗降等の協議 ・道路運送法上の手続 ▶ 飯能市地域公共交通対策協議会等で審議 ・運行開始(移行)の周知 ▶ 広報はんのうへの記事掲載
令和4年9月予定	実証運行開始 ※現行の大型バス運行から移行
~	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況のモニタリング ・本格運行案の検討
令和5年秋頃予定	本格運行開始

今ここ

発行/お問い合わせ ▶ご意見、ご要望はこちらまで

飯能市役所 市民生活部 生活安全課 交通政策室

☎042-973-2126(平日 8:30~17:15) ✉kotsu@city.hanno.lg.jp FAX 042-972-8455